

日本水難救済会名誉総裁・高円宮妃久子殿下及び承子女王殿下が 宮城県にお成りになり水難救済会をお見舞いされました

公益社団法人日本水難救済会の名誉総裁高円宮妃久子殿下は、承子女王殿下とともに、平成23年5月30日（月曜日）、東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県にお成りになり、宮城県水難救済会亘理救難所等をお見舞いされました。

お見舞いに先立ち、両殿下は第二管区海上保安本部に立ち寄られ、海上保安庁の震災対応の状況や、宮城県水難救済会の被災状況の説明等を受けられたほか、同本部の運用司令センターをご視察、職員を激励されました。

その後、宮城県亘理郡亘理町荒浜に所在する「宮城県水難救済会亘理救難所」にご移動され、亘理町長をはじめ、亘理救難所員等約60名が妃殿下のお出迎えをしました。

亘理救難所では、震災犠牲者への献花・黙祷をされた後、救難所員一人ひとりにお見舞いのことばをかけられました。



東日本大震災により犠牲になられた方々へ献花される高円宮妃殿下・承子女王殿下



宮城県水難救済会亙理救難所の方々をお見舞いになる高田宮妃殿下・承子女王殿下